

## 4 わたしたちにできることってなんだろう

(3) ごみを出すことで排出される二酸化炭素を減らす取り組み

ア 「もったいない」をさがして、3つのRにチャレンジしよう

電気のつけっぱなしや水の流しっぱなし、まだ使える・食べられるものを捨ててしまう時など、資源がむだになることをした時に「もったいない」という言葉が使われます。「もったいない」という言葉を聞いたことがありますか。

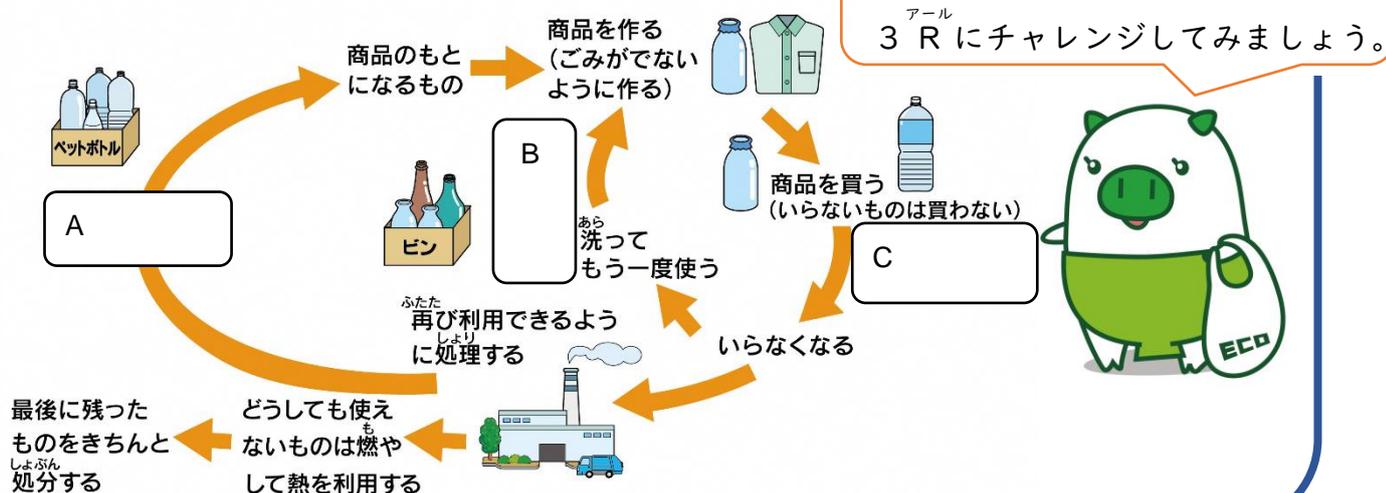
「もったいない」には、3つのR、「リデュース（ごみを減らす）・リユース（くり返し使う）・リサイクル（再生利用する）」を進めることだけではなく、命の大切さや地球資源に対して感謝する心もこめられた言葉です。

地球温暖化ができるだけ進まないように、環境にやさしい行動をするためには、この「もったいない」を探し、「もったいない」を減らすために何ができるか3つのRを考える必要があります。

### 考えてみよう

3つのRとは、次の①～③の3つの行動のことです。下のA～Cのどの部分に当てはまるか①～③から選んでみましょう。

- ① リデュース：使う資源やごみの量を減らすこと
- ② リユース：ものをくり返し使うこと
- ③ リサイクル：使い終わったものを資源として再び利用すること





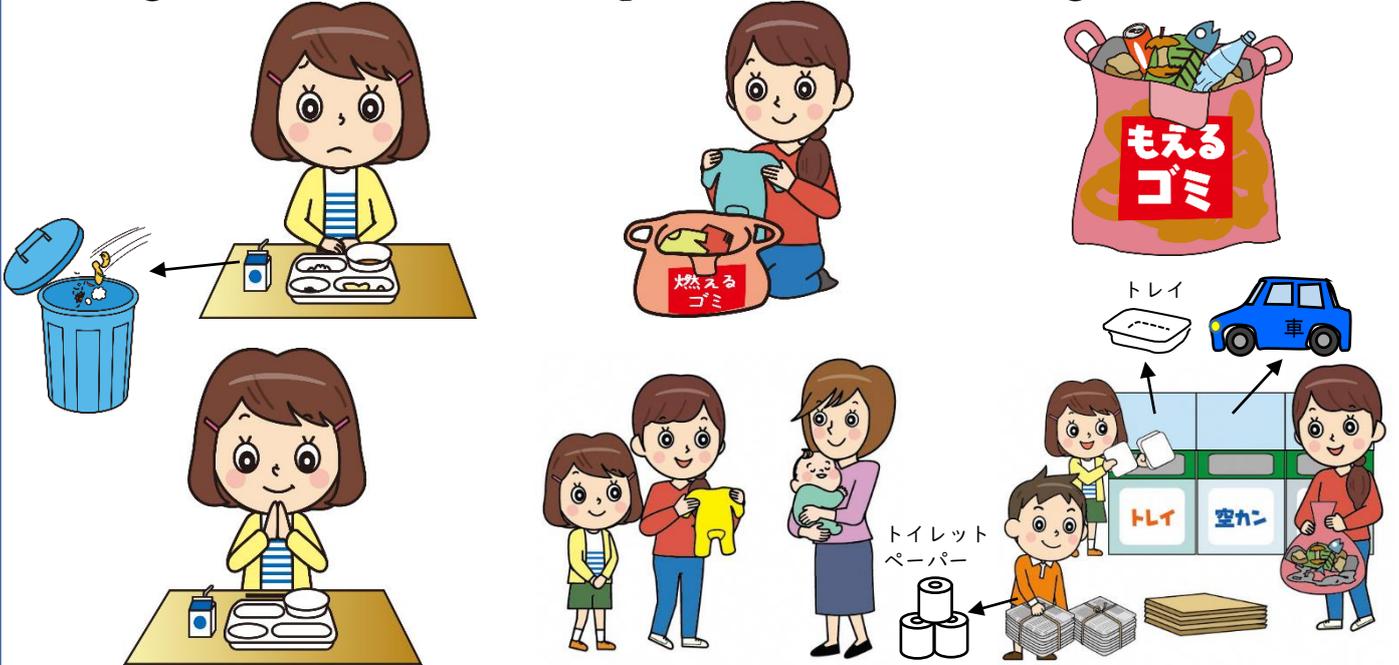
# 調べてみよう

次のイラストの上下を比較して、「もったいない」<sup>ひかく</sup>ところはどこか探してみよう。「もったいない」を探したら、それを減らすために何が出来るか「3つのR」<sup>アール</sup>からできることを調べたり、考えたりしてみよう。

① リデュース

② リユース

③ リサイクル



	もったいない	3つのR <sup>アール</sup>
①	..... .....	..... .....
②	..... .....	..... .....
③	..... .....	..... .....